

< 教育目標 > 心身ともにたくましい児童に育てる ○よく考え行う子ども ◎思いやりがありやさしい子ども ○明るく元気な子ども ○なかよく協力しあう子ども  
< めざす学校像 > 人と人とのつながりを大切に「笑顔あふれる学校」

学力の向上

- 【基礎的・基本的な内容の確実な定着】
  - 学習規律（用具の準備・片付け、話す・聞く態度）及び学習習慣の定着
    - ・課題の個別化等、家庭学習の工夫と自主学習の推奨
    - ・授業のユニバーサルデザイン化の推進と指導方法の工夫（ねらいの明確化、ICT 機器等による視覚化、動作化・作業化、振り返り）
  - 個別最適な学びの場の提供（算数科を中心に）
    - ・東京方式習熟度別指導ガイドラインに基づく指導の実施（算数科）
    - ・学習カルテを活用した個に応じた課題の提供・指導の工夫（算数科）
    - ・東京ベーシックドリル（タブレット版）等を効果的に活用した繰り返し学習
- 【思考力・判断力・表現力の育成】
  - 主体的・対話的な学びの創造
    - ・「聞いて・助けて・任せて・見守る」学習支援による学習意欲を喚起
    - ・体験的な活動、問題解決学習、考える場、意見を交流する場の計画的設定
      - 言語活動の充実、思考・表現ツールとしての ICT 機器の活用を含む
      - 校内研究の推進（話す・聞く力を付ける授業改善）
    - ・書くことの習慣化（全校における書きたいむの実施）
    - ・スタートカリキュラム、教科横断的カリキュラム（合科的、時間割弾力化）の実施。
  - 計画に基づく情報活用能力育成
    - ・タブレット端末の日常的活用（表現・共有・協働作業ツールとしての活用）
    - ・ICT の特性を理解する学習（文字入力等）、プログラミング教育、情報シチズンシップ
- 【外国語・外国語活動の授業改善】
  - ALT と連携した指導
    - ・外国語を使ったコミュニケーションの楽しさを知る（1, 2年）
    - ・「話す、聞く、読む、書く」の基礎的技能の習得（英語4技能検定の実施）
- 【学習過程や成果の評価による意欲の向上】
  - 校内研究活動と関連させた学力調査の分析と授業改善策の作成・実施
  - 評価内容の明確化（評価計画の作成）による適正な学習評価、及び、学習過程におけるよい面の積極的な評価
- 【読書活動の充実】
  - 読書指導
    - ・表現力向上をめざす読書指導（ブックトーク、ビブリオバトル等）
    - ・興味・関心を高める読書指導（ブックウォークカード、読み聞かせボランティア）
  - 学校図書館管理者や公共図書館の活用

豊かな心の育成

- 【人権教育・道徳教育の推進】
  - 人権を基盤とした教育・研修プログラムに基づく児童・教員の人権意識高揚
    - ・いじめや人権（性暴力）に関する特設授業、自殺予防教育（SOS 出し方教育）
    - ・性差による区別を必要としない場面での男女混合の取組
  - 道徳科授業の改善と道徳授業地区公開講座の実施
    - ・議論する道徳への工夫、体験活動で得られた価値をさらに高める工夫
- 【いじめを許さない学校づくり】
  - いじめ・不登校の早期発見・早期解決に向けた取組
    - ・学校生活アンケート（月1回）や児童による標語作成等の活動
  - 法に基づいた組織的対応
- 【生活指導・特別支援教育の充実】
  - 生活指導の推進（規範意識の向上）
    - ・練馬小の約束、放課後の約束、学校と家庭の約束による指導の推進（三つの「あ」：あいさつ、あつまり、あとかたづけ）
    - ・規範意識を高める授業の実施
  - 教育相談体制の充実と組織的な対応
    - ・個人面談（年間2回）
    - ・児童全員面接（第3学年心のふれあい相談員 第5学年スクールカウンセラー）
    - ・指導記録・相談記録の作成及び記録を生かした事後指導、経過観察
    - ・専門家、関係諸機関とも連携しての丁寧な対応
- 【自己肯定感・自己有用感を高める特別活動】
  - 特別活動におけるキャリア教育の推進
    - ・キャリアパスポートによる目標の明確化と振り返り
    - ・係活動や委員会活動等の集団活動における役割の意識化
    - ・支持的風土のある学級経営の推進（思いやり、寛容）
  - 異年齢集団活動の充実
    - ・ロング遊び集会、遊び集会、学習活動における異年齢集団交流の実施

健康の保持増進・体力の向上

- 【体育指導・体育的活動の工夫】
  - 体育の授業改善（運動量が確保できる授業展開の工夫）
  - 新体力テスト結果に基づく課題となる運動や補助運動の取り入れ
  - 体育的活動の推奨（外遊び、体育朝会、持久走月間、なわとび月間）
- 【健康教育・食育の推進】
  - 健康な生活の推進（基本的生活習慣の定着）
    - ・「早寝・早起き・朝ごはん」の推奨と啓発
    - ・生活習慣を振り返る指導機会の設定
    - ・薬物乱用防止教室、学校保健委員会の実施
    - ・学校生活アンケート（月1回）やチェックリストによる把握<再掲>
  - 食育の推進
    - ・給食指導の充実とアレルギー対応
    - ・各学年における食に関する授業や体験的な活動の設定（大根・イチゴの栽培、たくあんづくり）

【安全指導の充実】

- 現実に即した避難訓練と交通安全指導の強化
- 防犯意識向上のためのセーフティ教室の実施
- 情報モラル教育の充実
  - ・東京 SNS ノートの活用、学校 SNS ルールに基づく家庭ルール
  - ・学習用タブレットの適正な利用
  - ・情報モラル教室の実施
- 安全意識を高める取組の実施
  - ・安全点検による環境改善、整備
  - ・掲示物の整備等による美化活動の実施

【学校レガシー教育の推進】

- 持続可能な開発目標（SDGs）と関連付けた教育活動の取組
- スポーツの素晴らしさを味わわせるための専門家等の招聘

地域等と関わる活動や体験の充実

- 地域人材、地域の学習材、保護者ボランティア、学校外部団体の積極的活用
  - ・農家との連携、町探検・地域巡り、施設見学、体験教室等
  - ・学習資源バンクの継続的作成、蓄積
- 学校支援コーディネーターとの連携（地域・保護者へ協力依頼）
- 地域未来塾の充実
- ねりっこクラブ、関係諸機関との連携
- 地域行事等への参加協力

教育活動等の発信と評価

- 積極的な教育活動等の発信
  - ・授業公開、学校行事、保護者会、個人面談
  - ・諸通信、ホームページ等を活用した日常的・継続的な発信
  - ・デジタルデータによる家庭との連携方法の普及・確立
- 学校評価（教員・児童・保護者の教育活動評価、各行事等保護者アンケート、学校評議委員会【年3回】の実施）

学校・家庭・地域の協力・連携

保・幼・小・中の連携

- 小中一貫教育実践
  - ・めざす15歳の姿へ向かう授業実践の継続化
  - ・練馬中学校との児童・生徒の交流（部活動体験、中学校授業体験）
- 幼稚園、保育園との児童・園児の交流活動

働き方改革

- 児童と関わる時間の確保（ICT 機器や sigfy による会議や諸連絡の効率化）
- 健康的な働き方（勤務時間の把握、定時退庁、休務日、月1回の校務処理日の設定、タイムマネジメント、学校行事の縮小による過度な指導時間の削減）
- 保護者への理解促進（説明・理解・協力）

服務規律遵守

- 全体の奉仕者としての意識の深まり
- 服務事故防止
  - ・定期的な服務事故防止研修の実施
  - ・手続き等の厳格化と複数のチェック体制
  - ・報告・連絡・相談の徹底と誠実な対応

学校組織力の向上

学年経営・校務運営

- 学年主任による経営マネジメント
  - ・学年会、専科会→計画的進行
  - ・児童の共通理解と共通実践、情報共有
- 若手教員の企画の推奨
  - ・主任教諭による個性を尊重した支援、助言

組織的運営

- 主幹・主任による学校運営改善
  - ・経営会議
  - ・運営委員会
  - ・学校経営支援
  - ・校内研究
  - ・若手教員研修
  - ・文書作成
  - ・OJT、Off-JT の推奨による専門性の向上
  - ・予算の有効活用